

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM15Z002	化学 ( Chemistry )	基礎教育科目 自然・科学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1	前	木・3	下田 恵 内線：5606 E-mail：shimoda@med.oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

多くの知識を得ることは重要であるが、その知識を使う方法がより重要になる。いかに多く知っているかという事と共に、いかにその問題を処理することができるかという事に留意して、化学に取り組むことを目標とする。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 自然現象を物理化学的に説明できる							○
2. 有機化合物の構造と性質を説明できる							○

#### 【授業の内容】

1. 原子間結合と分子間結合	9. 有機化合物の特性
2. 溶解と溶液の濃度	10. 飽和脂肪族炭化水素
3. 溶液の性質	11. 不飽和脂肪族炭化水素
4. 蒸気圧と凝固点・沸点	12. 酸素・窒素を含む簡単な有機化合物
5. コロイド	13. カルボン酸とその誘導体
6. 酸とアルカリ	14. 芳香族化合物
7. 電離定数と緩衝液	15. 生体有機化学
8. 立体配置と立体配座	

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト、ディスカッション、LTD (Learning Through Discussion)	90分の授業の中間にブレイクを入れる。
B：意見の表現・交換	○		
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	参考資料について予習する (10h)
事後学修	小テストについて復習する (15h)

#### 【教科書】教科書を指定しない

【参考書】R. T. Morrison 『モリソンボイド有機化学』 東京化学同人 1994年 ISBN 9784807904013

#### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2
期末試験	100%	○	○

【注意事項】出席回数が2/3以上でなければ、試験を受けられません。

前半の講義と試験は関数電卓が必要です。

#### 【備考】

教員の実務経験の有無		
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	対面およびオンデマンド型オンライン	